



占う氏子総代5人に大注目

穏やかな年になるか？ ～曼荼羅モチ占い・小滝金峯神社～

1月7日、小滝地区・金峯神社で「曼荼羅モチ占い」が行われました。年男がついたモチの表面の状態などから、農作物の作況や風向、社会情勢などを占うもので、古くから集落に受け継がれてきた占いです。

昨年は「社会経済情勢に不安あり」と占い、政権交代や経済情勢の低迷などを言い当て（？）ましたが、ことしは「作況はほぼ平年並み、社会情勢や災害なども含めて、穏やかな年になるのでは」と占われました。

テレビ・新聞記者などの姿も多く見られ、市内外に儀式の様子や占いの結果が報道されました。

たこ 鳳作りや昔の遊びを体験

～まがりや餅つき大会～

1月9日、旧佐々木家住宅「まがりや」で、市社会福祉協議会主催の、まがりやもちつき大会が開催され、幼児から小学年まで約50人が参加しました。

まがりやの座敷では、三森鳳の会の皆さんによるたこ作りや、こま回し、けん玉、お手玉、羽子板などの昔ながらの遊びを保護者と一緒に楽しみました。

土間では、臼ときねを使ったもちつきを体験。ついたものは、きなこもちやお汁粉にして賞味したほか、エノキの枝に赤い花びらと白いつぼみに見立てて飾りつけて神棚に奉納する、昔ながらの風習も体験しました。



お父さんたちと一緒に昔遊びに興じる子どもたち

無病息災と家内安全のおはらい

～赤石地区小正月行事「アマハゲ」～

毎年恒例の小正月行事「アマハゲ」が1月11日、赤石地区で行われました。アマハゲとは、子どもの顔を墨で真っ黒に塗り、口紅をつけ、体をみでのでまとった無病息災の使者のことです。ことしもアマハゲと子どもたちがジャガの音とともに「アマハゲ來たじゃ 錢ダラ五文 酒ダラ1升 しな餅いらね ええ餅よんだ」と叫びながら赤石地区の各家々を訪問しました。

訪問した各家々の神棚の前でアマハゲが15回飛び跳ねながら、ことし1年の無病息災と家内安全のおはらいを行ってきました。



各家々でおはらいをするアマハゲ



▶アトラクションでは新成人の中から2組のバンドが出演し会場を盛り上げました

▶成人証書を代表して受け取る藤田洸さん（舞浦）



1月10日、「平成22年にかほ市成人式」が象潟シーサイドホテルを会場に開催されました。振り袖や、スーツなどに身を包んだ新成人264人（対象者330人）が出席しました。

式では国歌・市民歌斉唱に続き、成人証書の授与と記念品の贈呈。式辞、祝辞の後、齋藤陽平さん（新丁2区）が「若い視点から今の社会を鋭く見つめ、多くの経験を積み、自分を確立したい。未来のかほ市、日本に貢献できるよう精一杯努力し、挑戦することを誓います」と新成人誓いのことばを述べました。その後、佐々木千尋さん（立石1区）の代表朗読により、市民憲章を全員で唱和し閉式となりました。



市民憲章代表朗読
佐々木千尋さん



新成人誓いのことば
齋藤陽平さん

頼もしい新成人たち

～平成22年にかほ市成人式～

事故や犯罪のない社会を目指して

～交通指導隊・防犯指導隊初出式～

1月7日、象潟公民館で交通指導隊と防犯指導隊の初出式が行われました。

初出式は、交通事故や犯罪のない社会を実現するために、新年を迎えるこの時期に催されています。

式では、任期満了による退任者への感謝状の贈呈が行われた後、市長、警察署長、議會議長、交通・防犯関係者による服装点検などが厳粛に執り行われました。

最後に両隊長による宣誓と参加者全員で万歳三唱が行われ、安全で安心なまちづくりに向けて、両隊員一同は気持ちを新たにしている様子でした。



両指導隊員の服装点検などを行う横山市長や議会議長、交通・防犯関係者の皆さん

